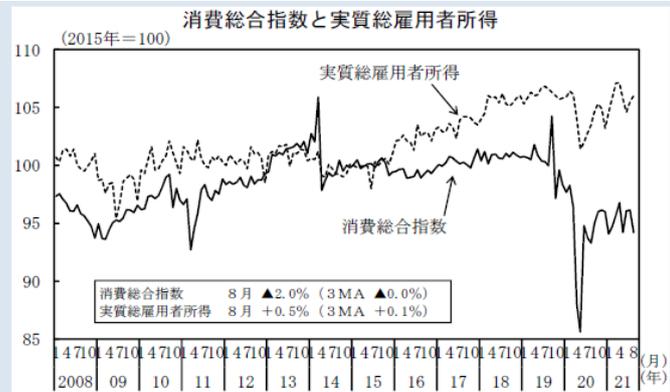


月例経済報告（2021年10月）

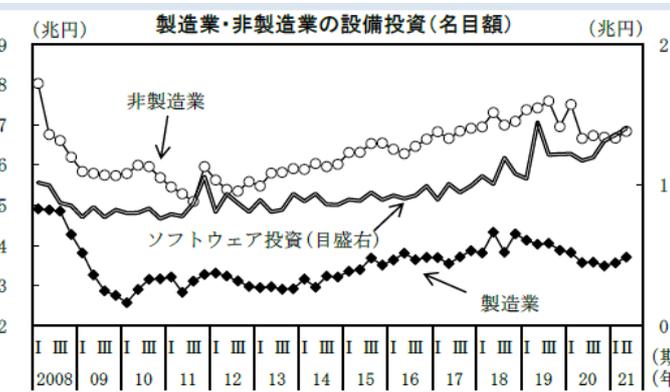
● 月例経済報告（10/15）

基調判断	(10月) 景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、そのテンポが弱まっている。 感染対策を徹底し、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、内外の感染症の動向、サプライチェーンを通じた影響による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。また、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。
	(9月) 景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、このところそのテンポが弱まっている。 感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、内外の感染症の動向、サプライチェーンを通じた影響による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

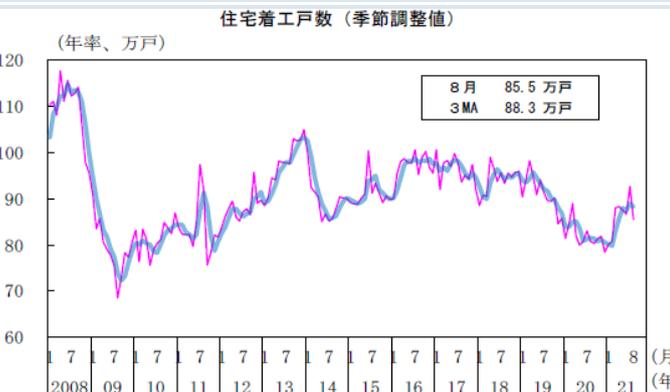
個人消費	(10月) 弱い動きとなっている。
	(9月) 弱い動きとなっている。



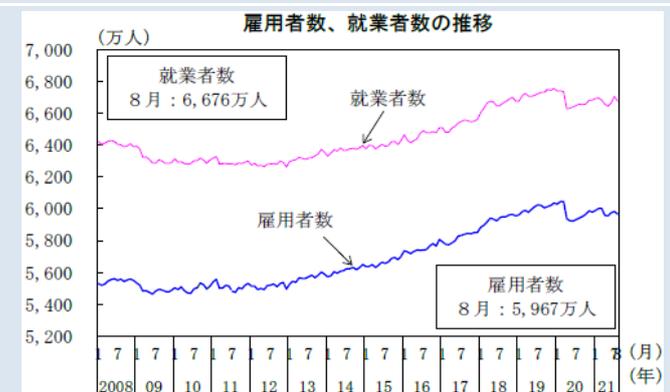
設備投資	(10月) 持ち直している。
	(9月) 持ち直している。



住宅建設	(10月) このところ持ち直しの動きがみられる。
	(9月) このところ持ち直しの動きがみられる。



雇用情勢	(10月) 感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、求人等の動きに底堅さもみられる。
	(9月) 感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、求人等の動きに底堅さもみられる。



<p>生産</p>	<p>(10月) このところ一部に弱さがみられるものの、持ち直している。</p> <p>(9月) このところ一部に弱さがみられるものの、持ち直している。</p>																	
<p>輸出</p>	<p>(10月) 増勢が鈍化している。</p> <p>(9月) 緩やかな増加が続いている。</p>	<table border="1" data-bbox="1225 636 1369 913"> <tr> <td>全体</td> <td>8月 ▲0.7%</td> </tr> <tr> <td>3MA</td> <td>▲0.0%</td> </tr> <tr> <td>アジア</td> <td>8月 ▲0.9%</td> </tr> <tr> <td>3MA</td> <td>▲1.2%</td> </tr> <tr> <td>アメリカ</td> <td>8月 ▲0.3%</td> </tr> <tr> <td>3MA</td> <td>+0.4%</td> </tr> <tr> <td>EU</td> <td>8月 ▲0.5%</td> </tr> <tr> <td>3MA</td> <td>+2.1%</td> </tr> </table>	全体	8月 ▲0.7%	3MA	▲0.0%	アジア	8月 ▲0.9%	3MA	▲1.2%	アメリカ	8月 ▲0.3%	3MA	+0.4%	EU	8月 ▲0.5%	3MA	+2.1%
全体	8月 ▲0.7%																	
3MA	▲0.0%																	
アジア	8月 ▲0.9%																	
3MA	▲1.2%																	
アメリカ	8月 ▲0.3%																	
3MA	+0.4%																	
EU	8月 ▲0.5%																	
3MA	+2.1%																	
<p>国内企業物価</p>	<p>(10月) 上昇している。</p> <p>(9月) 上昇している。</p>																	
<p>消費者物価</p>	<p>(10月) このところ底堅さがみられる。</p> <p>(9月) このところ底堅さがみられる。</p>																	
<p>海外経済</p>	<p>(10月) 世界の景気は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、一部で依然として厳しい状況にあるが、持ち直している。 先行きについては、持ち直しが続くことが期待される。ただし、供給面での制約や原材料価格の動向による下振れリスクに留意する必要がある。また、感染の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p> <p>(9月) 世界の景気は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、一部で依然として厳しい状況にあるが、持ち直している。 先行きについては、持ち直しが続くことが期待される。ただし、一部地域を中心とした感染の再拡大によるリスクに留意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>																	

月例経済報告：内閣府